

復興を歩む

vol.7

飯館村交流センター
(飯館村公民館)

老朽化と震災の影響で使用不能となった旧公民館が解体され、その跡地（飯館村草野字大師堂）で現在、建て替え工事が進められています。

新しい村公民館は、鉄筋コンクリート造の平屋建て。多目的ホールなど一部が木造です。延床面積は約1500平方メートルとなります。

この建て替え事業には、国の復興交付金を活用しています。今年6月8日に現地で安全祈願祭を行った後、順次工事を行ってきました。建設工事は冬季も引き続き進められ、来年3月の完成を目指します。

写真は建設現場の西側にある工事事務所から撮影したものです。写真左手が県道原町川俣線（県道12号線）になります。手前に見えているコンクリート土台の上には、多目的ホールが建てられます。ホールはステ

ジも備えており、客席数は最大で約300席。さまざまな催し物や発表会などに活用できます。また、フロアリングの床が冬でも冷たくないよう、建物内の利用者が使う場所には、ほぼ全面に床暖房が設置されます。

手工芸や音楽の趣味を避難先でも続けている皆さんから、時折、「村に帰った時にまた皆で楽しめたいよね」「講座を公民館で再開できたら、村外に住む人も集まれるかも知れない」などの声を聞きます。施設完成後は、そうした皆さんに、活躍・交流の場としてぜひ利用いただくと共に、村もこの新しい施設を活用し、交流事業や村行事を、さまざまに工夫して展開していく予定です。

また、同区域では、南相馬消防署飯館分署も、同様に来年の3月完成を目指して、建て替え工事を開始しています。県道をはさんで向かい側の村商工会館も建て替えを予定しており、新たな村内拠点の一つとして、このエリアでも、施設整備が進んでいきます。

10月19日の建設現場の様子です。多目的ホールが建てられるコンクリート土台の上に断熱材を敷く作業が進められていました。県内外の被災地で復興事業が進められている現在、人手や資材の確保が各建設現場等で課題となっており、この工事も施工側の努力の上に進められているところです。なお、工事車両の出入りが多くなっておりますので、現場周辺を走行する際はご注意ください。